

**【全体の概要】**

正答率は、県平均を大きく上回る。

○到達度分布では、「十分達成」は県平均を大きく上回り、「要努力」は県平均を大きく下回った。

○観点別正答率では、「話す・聞く」「書くこと」「読むこと」は県平均を大きく上回った。「知識・理解・技能」は、県平均をやや上回った。

○無回答率は県平均を大きく下回った。

	分析の結果・本校の課題	改善に向けた具体的取り組み
話すこと・聞くこと	<p>正答率は県平均を大きく上回る。</p> <p>○インタビューの様子を文章化し、その姿勢や発言内容など、メモを基に答える問題の正答率が高い。</p> <p>○活用に関する問題の正答率が高い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表内容の的確さを確認したり、話の内容が深まったり、広がったりするようなよりよい質問を考えたりするような学習を繰り返す。</li> <li>話す内容を文字化することによって内容の吟味ができる「書く活動」と合わせた指導を行う。</li> </ul>
書くこと	<p>正答率は県平均を大きく上回る。</p> <p>○図から分かる課題を条件に合わせて指定された字数にまとめて記述する問題では、約半数が正解している。</p> <p>●自分の考えを明確に表した文末表現に書き直す問題の正答率が低い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題文を最後まで見落とさずに読み、答える内容を的確に捉えさせる習慣をつけさせるとともに、より多くの言葉に触れさせるようにする。</li> <li>条件作文や図表を読み取り、作文につなげる課題に継続して取り組む。</li> </ul>
読むこと	<p>正答率は県平均を大きく上回る。</p> <p>○登場人物の心情を表した部分の書き抜きや人物の行動から分かる心情を選択する問題の正答率が高い。</p> <p>●説明文の読解は県平均を上回るものの正答率が低く、特に文章の内容を的確に押さえる問題ができていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明的な文章や論説文などは、日常的に触れる機会が少ないので、意図的に授業等で親しませ、著者の論理的思考を読み取る力を高める。</li> <li>現在、新聞のコラムの視写を課題として始めている。今後も年間を通じて継続し、「読む力」「書く力」につなげていく。</li> </ul>
知識・理解・技能 言語に関する	<p>正答率は県平均をやや上回る。</p> <p>●漢字の読みは高い正答率であるのに対し、漢字の書きは正答率が低い。</p> <p>●同訓異字の問題と漢字の成り立ちに関する正答率がやや低い。</p> <p>○慣用句、漢語・和語・外来語の区別、適切な打ち消し語を選ぶ問題の正答率はおおむね良好であった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿題と漢字テストを連動させるなど、生徒の意欲を喚起する工夫を取り入れる。</li> <li>随時、振り返りの学習や小テストを実施することにより、言語事項に関する学習内容の一層の定着を図る。</li> </ul>

**【全体の概要】**

正答率は、県平均を大きく上回る。

○到達度分布では、「十分達成」「おおむね達成」が県平均を大きく上回り、「要努力」は県平均を大きく下回った。

○観点別正答率は、すべての項目で県平均を大きく上回った。

●観点別正答率は、「考え方」が県平均は大きく上回ったが、到達基準は下回った。

	分析の結果・本校の課題	改善に向けた具体的取り組み
数学的な考え方	<p>県平均を大きく上回る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●正答率は県平均を大きく上回るものの、数量問題の平均と割合の応用問題を苦手としている。</li> <li>●グラフ(資料)を活用し、ある事柄の正誤を判断し説明する問題は、唯一、県平均の正答率より低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元ごとに、学習内容を利用して解く問題や、自分の考えをまとめさせたり友だちに伝えたりする場面がある。そこで、自分の考えを書かせ、友だちに説明させるコミュニケーション活動を随時設定し、活用する力と考えを伝える力を身につけさせる。</li> </ul>
数量や図形についての技能	<p>県平均を大きく上回る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●割合の考え方が定着しておらず、また分数に苦手意識を持つ生徒が多い。割合を分数で表す問題は、選択式の解答方法にも関わらず、正答率が低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校での学習内容を復習させる必要があるため、週末課題で重点的に出題し、改善を図る。</li> <li>・数式の計算処理の技能をさらに向上させるためには、日々の授業で小テストを行い、自己評価できるようにする。</li> </ul>
数量や図形の知識理解	<p>県平均を大きく上回る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全体的な正答率は、県平均の正答率を大きく上回り、到達状況も十分達成の割合が高い。</li> <li>●分数の大小関係を問う問題に苦手意識が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元の学習で、ワークシートにまとめさせたり、定期テストで出題したりして定着を図る。</li> <li>・分数の意味、分数を表す大きさと、その大小関係については、各学習領域で随時取り扱う場面が設定できる。そのつど、分数の基本的知識を振り返り、定着を目指す。</li> </ul>

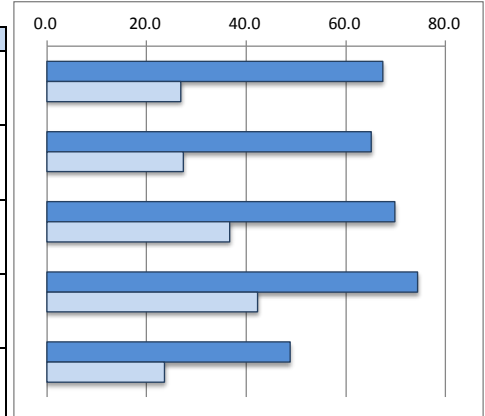
◆平成29年度佐賀県学習状況調査〈7年生 意識調査〉 小城市立小中一貫校 芦刈観瀾校 中学部

全体の概要

- ・主体的な学びができており、家庭学習の習慣が身につけてきている。
- ・家庭学習の傾向としては、復習に力を入れ、授業の振り返りができている。
- ・部活動をしている生徒が多く、携帯電話やスマートフォン等に時間を割いている生徒は少ない。

①県と比較して数値が高い項目

	項目	差	本校	県
59	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。 1 当てはまる	40.5	67.4	26.9
14	学校の授業の復習をしている。 1 している	37.7	65.1	27.4
22	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う。 1 そう思う	33.1	69.8	36.7
46	社会の授業で、自分が調べたり、考えたりすることをはっきり分かって学習している。 1 当てはまる	32.1	74.4	42.3
21	授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいると思う。 1 そう思う	25.2	48.8	23.6



分析

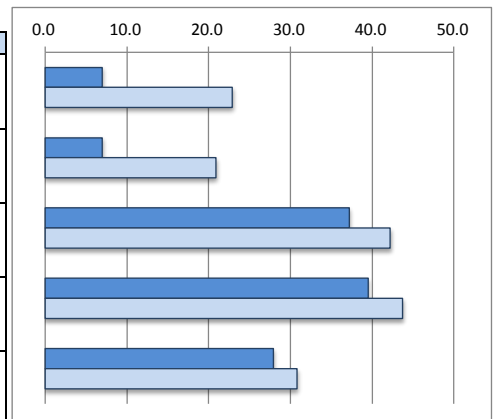
- ・学校生活（友人関係、学級の雰囲気）に満足している生徒が多い。
- ・教師の授業の手立て（ICTの利活用、学習形態の工夫）を好意的に受け止め、よく活動に取り組んでいる生徒が多い。
- ・社会の一員として活躍するという目的意識をもち、日々の生活を送っている生徒が多い。
- ・小学校での取り組みもあり、学習習慣が身につけている。また、与えられた課題に対しては前向きに取り組む生徒が多い。
- ・授業では、話し合う活動や調べる活動など能動的な活動ができている。

取組

- ・今後も一人一人の生徒理解を中心に据えた、学級経営や授業設計、進路指導などに努めていく。その際、生徒指導の三機能（自己存在感、共感的人間関係、自己決定）を有効に機能させながら指導にあたっていきたい。
- ・未然予防の視点を忘れず、各種アンケート（いじめアンケート、教育相談アンケートなど）の実施や気になる子への声かけ、教科担任と学級担任等との情報交換など、組織的に生徒の育ちを応援していく。

②県と比較して数値が低い項目

	項目	差	本校	県
9	日曜日は、何をしてお過ごしが多いですか。 7 友達と遊んでいる。	15.9	7.0	22.9
9	日曜日は、何をしてお過ごしが多いですか。 5 家でテレビやビデオ・DVDを見たり、テレビゲームをしたりしている。	13.9	7.0	20.9
69	今住んでいる地域の行事に参加している。 1 している	5	37.2	42.2
41	読書は好きだ。 1 当てはまる	4.2	39.5	43.7
19	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思う 1 そう思う	2.9	27.9	30.8



分析

- ・学校外での学習を、自ら進んで意欲的に取り組むよう支援していくことが課題である。
- ・授業などで自分の考えや意見を、言葉にする機会を増やすことが課題である。
- ・生徒自身の人生観や世界観を広げるためにも、幅広いジャンルの本に親しんだり、新聞やテレビのニュースなどに触れる時間を増やすことが課題である。

取組

- ・生徒が予習する意味や必要性を感じるよう授業担当者が工夫していく（例えば、授業内容と絡めた予習課題を出したり、予習する意味を説いたりする）。
- ・授業の活動で意見や考えを言葉で伝えたり、文章にししたりするなどの工夫をしていく。
- ・教師が機会あるたびに、時事問題や自分が読んだ本について触れることで、生徒の読書意欲や社会への関心を高めていく。